

いま、知られざる世界の恐しい事実が…

「私はまだ生きているのに～」

1985年、ハーバード大学人類学者ウェード・ディビス報告。
「現代ハイチには人間を生きる死人にするゾンビ薬が実在する。」

THE SERPENT
AND THE RAINBOW



ゾンビ伝説



ビル・ブルマン キャシー・タイソン ジェイクス・モカエ ポール・ウインフィールド

「生きる死人の世界」 監督: ウェス・クレーヴン 製作総指揮: ロブ・コーエン 製作: テビット・ラット ダグ・クレイボーン 原作: ウェード・ディビス 音楽: ブラッド・フィーテル ユニバーサル映画 UIP配給

■目ざめたら一墓の中

南米ハイチに今なお残るブードゥ教最大の魔術、ゾンビの呪い。そして、この呪術の靈薬を探るべく、ハーバード大学の人類学者が革命前のハイチにとんだ！

「ゾンビ伝説」は冒險家でもあり、科学者でもあるウエード・ディビスの悪夢のような体験をもとに、ホラーの巨匠ウエス・クレーブンが、現実と幻覚の境界を超越する超自然現象に挑む実話の映画化である。

この新感覚のホラー映画は、アメリカで公開されるや、興行成績でいきなり2位に躍り出て全米の観客を恐怖のどん底にたたきこんだ大ヒット作品。ニュースウイーク最新号でも、ブードゥ教の謎に科学のメスを入れた問題作として、アカデミックな特集を組むほどのセンセーショナルな話題を投げかけている。

生命の危機にさらされ、世にも恐ろしい恐怖に満ちた体験をくぐりぬけたウエード・ディビスはハーバード大学の研究員である。麻薬学に精通する人類学者の危険な冒險、それはハイチに根ざすブードゥ教の400年にも渡る歴史の扉を開くこととなった。靈媒師がとり行なう降霊の儀式や血の祭礼、炎の巡礼、そして黒魔術。独裁政権下ハイチにおける圧政のいしづえこそブードゥ信仰だった。人心を幻惑し恐れおののかせ、従属しない者には呪いの矢が放たれる。そうした呪術に必ず介在する神秘の靈薬——この謎に映画としては初めて科学的にアプローチしたのが「ゾンビ伝説」だ。

秘密警察が権力をにぎるハイチにおいて様々な困難に出会う若さ人間学者。彼を助ける美しい女性医師とのつかの間の愛と、二人を襲う奇怪な魔術。そしてハイチを支配するアマゾン最大の靈媒師こそゾンビの靈薬の謎を握る秘密警察の黒幕だった——

ウエード・ディビスの原作を脚色し、邪悪なイメージの奔流を見事に映像化したのが「エルム街の悪夢」のウエス・クレーブン。そしてウエード・ディビスの分身ともいえる科学者役を「殺したい女」「スペースボール」のビル・ブルマンが演じる。そのほか「モナリザ」のキャシー・タイソンや「遠い夜明け」のゼイクス・モカエ、「ハッスル」のポール・ワインフィールドら個性的な俳優が脇を固める。

■ゾンビ麻薬

82年、科学者ウエード・ディビスはハイチへ飛び、謎の粉を作り呪術師に会った。そこで数種のサンプルを採取し、全ての葉に含まれている物質を見つめた。その一つは死体の骨、そしてフグの猛毒テトロドトキシンだった。このテトロドトキシンは肌に擦り込むと神経が麻痺して呼吸数が減り、酸素所要量も

下降する。そのため死んだように見えるが、本人の意識は確かにある。

この仮死状態を引き起こしたのち、チョウセンアサガオの一種を基にした幻覚剤を飲ませると無意識の状態を数時間保つのである。

自然が生んだこれらのものにより、人間はゾンビと化してしまう事実が彼の研究によって解明された。



■スタッフ

監督 ウェス・クレーブン
製作総指揮 ロブ・コーエン
製作 デビッド・ラッド
ダグ・クレイボーン

原作 ウエード・ディビス
音楽 ブラッド・フィーデル
■キャスト

ビル・ブルマン／キャシー・タイソン／ゼイクス・モカエ／ポール・ワインフィールド

ゾンビ伝説

THE SERPENT AND THE RAINBOW



近日ロードショー
特別鑑賞券(一般￥1200/学生￥1100/ペア券￥2200)発売中

有楽町・東宝映画街
日比谷映画 (591)
5353